

先行的に事例形成を支援するプロジェクトの概要

広域対流促進電子スタンプラリー支援プロジェクト

従来の観光スポットにとどまらない農林水産業体験や製造・調理体験等ができる訪問体験可能拠点の発掘を図るとともに、電子スタンプラリーでこれらをネットワーク化することで広域の対流を促進し、観光を通じた地場産業の振興に基づく被災地復興や地域振興を目指す。

【背景】

東日本大震災被災地域は、震災で失った販路回復や多様化が課題
震災以降落ち込んでいる観光客数の回復を目指して政府では平成28年を「東北観光復興元年」として取組を強化。宿泊者数の増加のためには、農林水産業体験や製造・調理体験等と観光を組み合わせた取組が重要

東北圏広域地方計画の主要施策の実現を加速するためには、関連する各地での取組に、国民や関係者が触れる機会を増やすことが重要

【取組内容】

農林水産業体験や製造・調理体験等ができる訪問体験可能拠点及び訪問可能な先端産業拠点の発掘・調整の支援、隠れた面白スポットの情報発信支援、電子スタンプラリー参加者からの評判情報の2次発信の支援等

電子スタンプラリーによる訪問可能拠点のネットワーク化で「対流促進」効果を最大化。また、対流の継続に向けた支援(東北生業ツアー促進協議会(仮称)設立)

効果計測(本取組実施前後での旅行者の行動変化を、アプリ利用者の行動情報のビッグデータ等を用いて解析)

(H29年度の具体的取組)

意向調査等により訪問体験可能拠点の情報を整理するとともに、受入意向がある企業・団体等を把握

【効果】

従来の観光スポットにとどまらず、産業系やインフラ系も含めた訪問可能拠点情報が普及し、スタンプラリー自体の効果ともあいまって、東北圏内及び東北圏と他圏域間での対流が促進され、被災地復興や地域振興に寄与



(参考資料) 広域対流促進電子スタンプラリー支援プロジェクト

スマートフォンアプリ「ガイド東北」を活用した電子スタンプラリーの概要

東北の観光・インフラ情報が豊富に載ったスマートフォンアプリ「ガイド東北」を、東北6県・仙台市と国の地方支分部局が共同制作テーマ性を持った様々なコースを設定できる「電子スタンプラリー機能」を搭載し、特典設定により大きな誘客効果アプリを使い地域の観光スポットを巡る人やインフラに興味を持つ人の数を伸ばし、東北の復興や地域振興に資することを旨とする。

【ガイド東北制作委員会】 総務省東北総合通信局、農林水産省東北農政局、林野庁東北森林管理局、経済産業省東北経済産業局、国土交通省東北地方整備局、国土交通省東北運輸局、国土地理院東北地方測量部、環境省東北地方環境事務所、陸上自衛隊東北方面総監部、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、(一社)東北経済連合会、東北観光推進機構、(公社)土木学会東北支部、(一社)東北地域づくり協会

【後援】 (株)東奥日報社、(株)岩手日報社、(株)河北新報社、(株)秋田魁新報社、(株)山形新聞社、(株)福島民報社、福島民友新聞(株)ほか

現行の「ガイド東北」画面例



「電子スタンプラリー機能」搭載による効果

電子スタンプラリー主催者毎に、テーマ性を持った様々なコースを設定でき、利用者と主催者双方にメリット

スタンプラリー利用者

スタンプラリーをやってみると、意外な場所に素晴らしいものがあることがわかるわ。



早くクリアして特典ゲットだ!

スタンプラリー主催者 (自治体・観光協会等)

この特典なら限られた予算で多くの人に来てもらえそうだな。

地元宿泊者数も増えると思われ。

ここを気に入った人の中から1ターンする人も期待!



スタンプラリー主催者 (企業等)

特典として当社の工場見学と非売品グッズを付ければ、経費はさほどかかずに、コアな支持層を獲得する効果が期待できます。



やってみよう!

スタンプラリー主催者 (NPO・地域活動団体等)

僕らの散策路を登録しよう。特典を付けるのは難しいけど。

いや、特典として僕らと一緒に農業体験するのは？都市部の強力な理解者が得られれば、僕らの活動としても大成功だよ。



周辺のガイドもしたらいいんじゃない。

「電子スタンプラリー機能」搭載のイメージ

ガイド東北では、様々な地理的スケールのスタンプラリーが同時開催されます。多くの誘客を狙った特典付きのものも、ルート紹介だけのものも共に可能です。



バイオ・医療産業等を核にした東北圏地域づくり強化プロジェクト

国内外の広域連携を必要とするバイオ・医療機器産業等の先端産業拠点の集積を促進するため、先端産業集積を支える交通インフラのあり方について検討するとともに、先端産業の集積を活かし、外国人交流人口増加にも対応するまちづくりの推進等、地域振興を目指す。



【背景】

東北圏は、豊かな自然等の魅力に恵まれるとともに、高速交通環境の整備が進展

東北圏内の地域において、バイオ研究開発拠点、医療機器産業拠点等の先端産業拠点整備が進行中

リニア中央新幹線等の整備により、東北圏と近畿圏等のバイオ・医療産業分野の連携可能性が拡大

圏域の人口減少が進行し、コンパクト+ネットワークの観点で踏まえた効率的な圏域づくりが必要

【取組内容】

将来の広域連携環境の変化やバイオ・医療等の先端産業の動向を踏まえた、先端産業拠点の整備及び関連する交通インフラ整備の推進

バイオ・医療等の先端産業に従事する外国人を含む人材等の来訪・居住に対応した、生活・滞在のしやすいまちづくりの推進

先端産業拠点等の整備とあわせ、周辺の人口減少地域における交流人口増加に向けた施策など、広域的な視点からの効率的な地域づくりの推進

(H29年度の具体的取組)

広域連携促進に向けた課題等を整理するとともに、先端産業に従事する外国人居住者へ生活環境等に係るアンケート調査を実施

【効果】

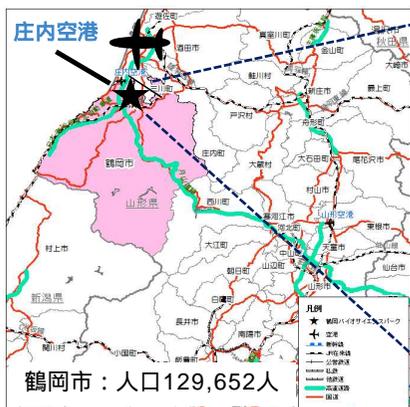
先端産業拠点等への産業集積促進による東北圏の活性化

外国人も滞在しやすい住環境整備の推進による、定住人口・交流人口の増加

先端産業拠点の立地地域のみならず、その周辺も含めた地域社会の維持など、拠点整備の効果を広域的に波及

鶴岡メタボロームクラスターの概要

庄内空港(山形県の鶴岡市と酒田市にまたがる)の近くに、ベンチャー企業が立地。バイオテクノロジーによって、クモの糸と同じ分子構造を持つ強い繊維を開発。



東京方面には庄内空港(市街地から車で30分程度)から航空便の利用が多い。定期便があり、庄内空港と羽田空港を約1時間で結ぶ。



鶴岡市先端研究産業支援センター
(レンタルラボ)

ベンチャー企業

慶応義塾大学
先端生命科学研究所

- 先端生命科学研究所からは複数のベンチャー企業が誕生。
- 平成19年に設立されたスパイバーは、人工クモ糸の事業化を進めており、現在の資本金は約170億円、従業員は約190名、国内外を問わず積極的に人材を採用。



世界的にもレベルの高い日本の発酵や製糸技術の経験・知見を活用し、人工クモ糸の生成に成功。

DNA解析×発酵・製糸技術



人工合成クモ糸繊維QMONOS™が使われた世界で初めてのドレス。

(写真提供：Spiber)



ふくしま医療機器開発支援センターの概要

医療機器の開発から事業化までを一体的に支援する国内初の施設「ふくしま医療機器開発支援センター」が福島県に誕生。

ふくしま医療機器開発支援センター
(平成28年11月～)



センターの4つの機能

安全性評価



人材育成・訓練



コンサルティング・
情報発信
機能

マッチング機能



出展：福島県HP

上記先進事例を中心に、広域連携の核となる、先端産業拠点における「まちづくり」や「交通問題」、「外国人居住者」増加への対応の推進等、地域振興を目指す。

リニア開業を踏まえた首都圏の国際競争力高度化プロジェクト

(東京・川崎・横浜関連、首都圏南西部国際都市群の創出、甲信静地域関連)

リニア中央新幹線の開業、成田・羽田の機能強化等と都市再生制度・特区制度等の活用により東京圏の国際ビジネス機能集積を図るとともに、首都圏南西部に高機能な物流・観光ハブ、R & D・新産業の集積・交流の拠点形成を図る。

リニア開業を踏まえた首都圏の国際競争力高度化に向けた取組

- ★ … 主な拠点等
- ◆ … 公的研究機関(首都圏南西部)
- ▲ … 理科系大学(首都圏南西部)

さがみロボット産業特区

- … 「さがみロボット産業特区」において実証フィールドを設けるエリア
出典：内閣府資料

- は新幹線、— はその他の鉄道路線
- は高速道路等の開通済区間
- - - は2027年開業予定のリニア中央新幹線(品川・名古屋間)



「国際旅客船拠点形成港湾」に指定(H29.7)

- スーパー・メガリージョン
- 主なプロジェクトのエリア

- は新幹線
- はその他の鉄道路線
- は高速道路等の開通済区間
- - - は2027年開業予定のリニア中央新幹線(品川・名古屋間)

【背景】

リニア中央新幹線の整備

東京港の整備、横浜港の大型クルーズ船受入環境改善

圏央道、リニア、新幹線新駅(構想中)等の整備により、首都圏南西部(280万人圏域)と中部・近畿圏とのアクセス機能が飛躍的に向上

【取組内容】

国際交流拠点・国際的ビジネス拠点の形成

産官学で連携し、ライフイノベーション産業の集積等の強化、海を活かしたまちづくりにおける観光・MICE拠点の整備

リニア、圏央道整備の効果を発現する産業拠点の整備並びに対流拠点(高速バスターミナル等)及び知的創造の交流拠点の整備の検討

リニアと自動運転をシームレスに組み合わせた移動サービスの検討

(H29年度の具体的取組)

リニア新駅開業を踏まえた駅周辺整備の基本計画などの策定

相模原市、山梨県、長野県等

【効果】

都心部に、金融拠点、地域統括支店、国際会議等に選択されるアジアNo1(将来的には世界No1)のビジネス拠点を形成

海洋文化の教育・研究・産業など様々な活動の拠点、クルーズ船の誘致等により、国際賑わい空間の創出

首都圏南西部に国際ゲートウェイとして、大容量かつ高機能な物流拠点及び湘南、高尾、富士・箱根等への外国人観光のハブ拠点を整備するとともに、「未来投資」を地図に落とすエリアとして各種

特区制度の活用・連携による企業・大学・研究機関等のR & D(研究開発)、ロボット・航空産業等の新産業の集積の促進及び知的創造の交流(他圏域とのナレッジ・リンク)拠点の整備

国際的な高原リゾート地として整備・育成

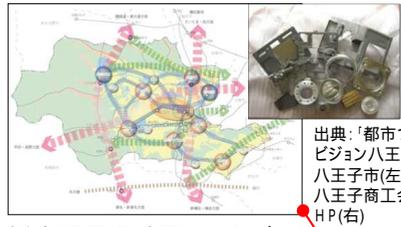
(参考資料) リニア開業を踏まえた首都圏の国際競争力高度化プロジェクト

(東京・川崎・横浜関連、首都圏南西部国際都市群の創出、甲信静地域関連)

- 東京都心部における国際的ビジネス拠点について、特区制度等を活用し整備を図る。
- 川崎における産業集積として国際戦略総合特区を活用した、キングスカイフロントの整備を推進する。
- 横浜港の機能再編により、外港部に大型クルーズ船を誘致等接岸可能な施設、旧ふ頭を賑わい空間として整備する。
- 首都圏南西部の研究機関・大学の連携によるロボット・航空産業等新産業の集積の促進及び知的創造の交流拠点を整備する。

首都圏南西部

八王子市の精密機械等の集積の促進



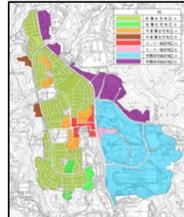
橋本駅周辺地区のまちづくり
広域的な交流・連携のゲート



相模原駅周辺地区のまちづくり
相模総合補給廠の一部返還地を生かした新市街地の形成



厚木市森の里地区のまちづくり
研究開発機能が集積する地区の一層の充実



東京都心部



虎ノ門地区
外国人を呼び込む「職住近接の空間」づくり



大手町～兜町地区

各地区の特性を活かした金融ビジネス交流拠点の整備



「常盤橋街区再開発プロジェクト」の外観イメージ



八重洲地区

日本橋室町周辺のライフサイエンスビジネス拠点と連携したビジネス交流・サポート機能の整備



日本橋・東京駅のエリア連携のイメージ



八重洲二丁目中地区及び麻布台地区について都市再生特別地区(H29.9告示)

JR品川駅周辺地区

JR品川車両基地跡地における国際交流拠点形成と品川駅周辺地区における段階的まちづくりを推進



羽田・川崎地区

羽田空港に近接した多摩川両岸でMICE機能、研究機関等の集積を推進



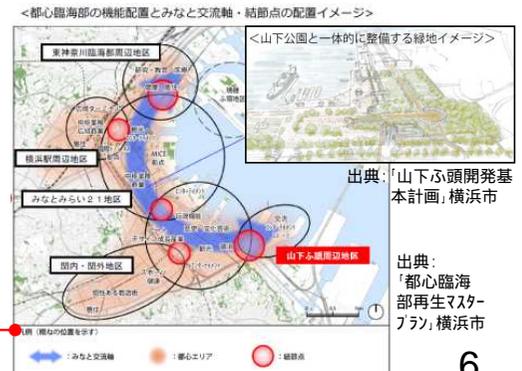
羽田空港跡地第2ゾーンの開発に係る民間事業者(代表:住友不動産)が決定(H28.6)

東京港新客船ふ頭 2バース体制拡充決定(H29.5)

— は新幹線、 — はその他の鉄道路線
— は高速道路等の開通済区間
- - - は2027年開業予定のリニア中央新幹線(品川・名古屋間)

横浜港地区

観光・MICEを中心とした魅力的な賑わいの創出

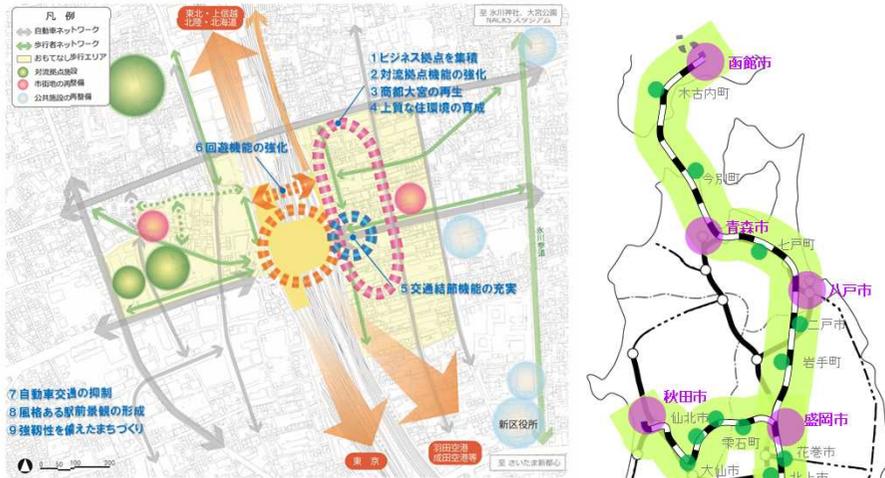


東日本地方創生回廊とスーパー・メガリージョンとの連結拠点創出プロジェクト

東北・北海道、上越、北陸新幹線が集まる大宮をスーパー・メガリージョンに対する東日本の玄関口と位置づけ、東日本各地とスーパー・メガリージョンとのビジネスマッチングや東日本各地のショールーム機能を持つ拠点を設けることなどにより両地域の対流を促進し、スーパー・メガリージョンの効果を東日本各地に波及させる。

東日本地方創生回廊のイメージ

大宮駅グランドセントラルステーション化構想



出典:さいたま市資料



(資料)「全国路線図 平成28年4月1日現在」日本高速道路保有・債務返済機構HPを基に加工

東日本連携支援センター予定地決定

道の駅 尾瀬かたしな (H30年オープン予定)

【背景】

東北・北陸・上越方面の各新幹線が大宮駅で結節

・さらに、北陸新幹線・北海道新幹線の延伸

地元さいたま市の「大宮駅グランドセントラルステーション化構想」が始動

東京都心被災時に迅速に支援可能な立地と機能集積

【取組内容】

大宮駅及び周辺地区の機能強化の検討

空港アクセス機能強化の検討・防災拠点の検討

東日本における地方創生回廊づくりの具体的方策の検討

リニア整備の効果を見据えた具体的方策の検討

(H29年度の具体的取組)

東日本連携広域周遊ルート、モデルコースの公表

【効果】

東日本連携支援センターのビジネス相談・交流機能、東日本各地のショールーム機能等により、北海道、東北、北陸、信越、北関東の企業とスーパー・メガリージョン(首都圏・中部圏・近畿圏)の企業とのビジネスマッチング、販路拡大

ホテル、コンベンション等複合施設を活用したビジネスマッチングフェアや物産フェアなどのイベント型の東西連携やビジネス拠点としての機能の充実

東京都心に近い立地と機能集積を活かし、TEC-FORCEの進出拠点として迅速な震災復旧・支援、バックアップ

「歴史・文化」「自然」「温泉」「食」等多彩な地域資源を活用し、「日光・会津・上州歴史街道」等の新たな広域観光周遊ルートを創出することにより、インバウンドを含めた観光振興による交流人口の増加

大宮駅周辺を東日本の玄関口として整備することにより、東日本における地方創生回廊づくりを進める。

東日本連携・創生フォーラム宣言

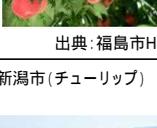
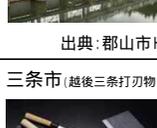
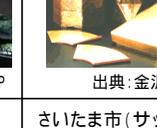
本格的な人口減少社会を迎え、地方創生を成し遂げることが喫緊の課題である今日、新路線延伸開通に伴い、首都圏、北陸、上信越、東北、北海道の各経済圏は飛躍的に広がり、新しい繋がりが本日生まれた。
 地域が持続可能性を有する社会の実現に向けて、我々自治体は多様な個性を發揮し、各地域の魅力を協力して国内外に発信するとともに、経済団体、産業支援機関等と相互に協働し合い、次の共通認識のもと、市域を越えた広域的な連携を推進することで、地域間の絆を強化し、地域社会の持続的成長・発展に継続して取り組んでいくことをここに宣言する。

- 1 地域資源の相互活用による、相乗的な地域活性化の促進・交流人口の拡大
 人口減少による消費市場の規模縮小は、地域経済の縮小を招き、住民の経済力の低下、ひいては地域のにぎわい喪失につながる危険性をはらんでいる。広域連携による物産、文化、祭、イベント等の地域資源を相互に活用し、観光客誘致に向けた共同発信、事業承継のための文化交流など、ヒト、モノ、情報の交流を促し、多様で相乗的な地域活性化に取り組んでいく。
- 2 経済活動促進のための広域的取組の実施
 取引機会の拡大や販路開拓、連携によるイノベーションの創出などは、地域産業が事業活動を継続し、成長力を確保するうえで非常に重要な取組である。各地域の自治体や経済団体、産業支援機関等と顔の見える確かな関係を構築し、連携を容易にすることで、新たな事業展開を創出するとともに、多くのビジネスチャンスを生む支援策・仕組みを実施していく。
- 3 新たな可能性、地域課題解決に向けた連携
 今後の社会情勢、地域事情の変化により新たに生まれる課題の解決や、地域の活性化に向け、前例にとらわれず新たな可能性を見出すべく、広域的な連携を実施していく。

平成27年10月26日

東日本連携・創生フォーラム参加都市一覧 (平成29年5月現在)

出典：第1回 東日本連携・創生フォーラム

 出典：函館市HP	 出典：青森市HP	 出典：八戸観光Navi	 出典：盛岡市HP	 出典：仙台市HP	 出典：仙台市HP
 出典：秋田市HP	 出典：福島市HP	 出典：郡山市HP	 出典：那須塩原市HP	 出典：宇都宮市HP	 出典：小山市HP
 出典：山形市観光協会HP	 出典：新潟市HP	 出典：三条市HP	 出典：みなかみ町HP	 出典：金沢市HP	 出典：金沢市HP
 出典：高岡市HP	 出典：氷見市HP	 出典：南砺市HP	 出典：長野市HP	 出典：さいたま市HP	 出典：さいたま市HP

大宮駅周辺に接続が検討されている
 (仮称)東日本連携支援センターの機能(案)



出典：第2回 東日本連携・創生フォーラム

日光・会津・上州歴史街道対流圏の創出



太平洋・日本海横断高競争力製造業ベルト創出プロジェクト

北関東・信越地域における北関東自動車道等の高速道路網の整備、太平洋・日本海両面の港湾を活用できる立地特性を活かし、両地域の産業連携、海外工場の国内回帰、マザー工場の集積等、競争力の高い製造・エネルギー産業の集積を進め、高度な国際競争力を有する産業集積ベルトの構築を目指す。

【背景】

北関東道がH23.3に全線開通し、高速道路と茨城港等の港湾とが広域で直結

北関東3県はH25以降、工場立地件数が全国上位を占有
東京ガス日立基地及びパイプラインがH27年度に稼働。更なる増強計画が進行中

常陽銀行(茨城)と足利銀行(栃木)が統合し、めぶきFG(総資産地銀3位)が誕生(H28.10)

【取組内容】

拠点港である茨城港への荷集めと航路便数の確保、日本海側の港の活用促進

インランドポート(佐野等)の有効活用、コンテナ・ラウンドユースの推進
自動運転に向けた実証的な取組の積み上げ

水素関連製品の市場拡大(普及)

LNG基地やパイプラインなどのガスインフラを活かした取組の支援
広域交通ネットワークを活かした信越地域の製造業と北関東の製造業との連携

(H29年度の具体的取組)

圏央道茨城区間の全線開通、物流施設「佐野インランドポート」の供用開始

【効果】

高速道路と直結した港湾の有効活用・インランドポートや港湾のコンテナターミナル整備・自動運転の実用化等による物流コストの大幅な削減、ドライバー不足の克服、国際競争力の強化、環境負荷の低減

自動車・航空・機械等の基幹産業や燃料電池・水素関連産業等の未来型製造業の集積による経済成長

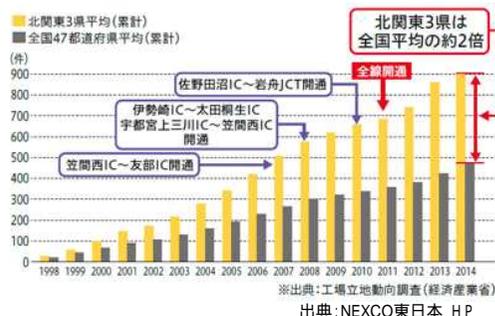
首都圏に近接する北関東の製造業と信越の産業との連携による「北関東信越地方創生回廊(仮称)」の実現

太平洋・日本海横断軸のイメージ

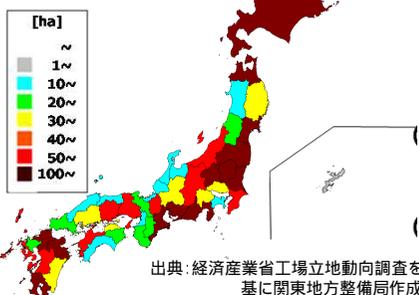


北関東3県では、現在も、工場立地が全国でも突出したペースで進んでいる

工場立地件数の推移



工場立地面積



高速道路、港湾、パイプライン等エネルギーを活用できる立地特性を活かし、産業の集積を図る。

ガスパイプラインを活用した産業集積の促進

清原工業団地
エネルギーセンター(仮称)
(2019年1月竣工予定)
出典: 東京ガスプレスリリース

真岡発電所
(2019年後半稼働予定)
出典: 神戸製鋼資料

水素・燃料電池自動車の安全評価試験施設(城里町)
出典: 茨城県資料

東京ガス日立基地及びパイプライン
(2016年3月稼働)
出典: 東京ガス プレスリリース

バイオマス発電設備
(2009年4月稼働)
出典: 栃木県HP

茨城幹線
(2021年3月竣工目標)
出典: 東京ガスHP

大規模洋上風力発電所メガサイト鹿島
(計画進行中)
出典: ウィンド・パワーグループ HP

高崎駅前コンベンション施設の整備

洋上風力発電実証実験(いわき市)
出典: 経済産業省HP

【凡例】
 ● 東京ガスパイプライン (計画・建設中)
 ● 静岡ガスパイプライン (計画・建設中)
 ● INPEXパイプライン (計画・建設中)
 ● 東京ガス供給区域
 ● 静岡ガス供給区域
 ● INPEX供給区域
 ● 相互融通ポイント

高速道路・港湾を活用した連携によるものづくり産業集積ベルトの構築

新潟港コンテナターミナル
出典: 北陸地方整備局HP

自動運転 隊列走行のイメージ
出典: (一財)日本自動車研究所HP

佐野インランドポート
出典: 佐野市HP

茨城港常陸那珂港区国際物流ターミナル整備事業
出典: 関東地方整備局HP

信州まつもと空港
板倉ニュータウン(邑楽郡板倉町)
出典: 群馬県HP

宇都宮テクノポリスセンター(宇都宮市)
出典: 宇都宮市資料

阿見東部工業団地(稲敷郡阿見町)
出典: 茨城県HP

いばらきロボット実証試験
出典: 茨城県HP

コンテナラウンドコース
出典: 茨城県総合物流計画

インランドデポ
出典: 群馬県HP

北陸自動車道
上越新幹線
東北新幹線
北関東自動車道
北陸新幹線
羽田空港
成田空港
茨城空港
福島空港

(参考資料) 新たな働き方・暮らし方を実現する首都圏3リングの形成プロジェクト

(関東大環状軸(二地域居住・定住圏リング)・圏央物流リング(ゴールデンリング)・近郊居住再生リング創出プロジェクト)

圏央道や北関東道・中部横断道の整備効果やサテライトオフィス・在宅勤務を前提に、団地再生・二地域居住などを進め、新たな働き方・暮らし方(ワークライフバランス)を推進する。

【近郊居住再生】

物流革新による買い物支援

- 店舗側から移動販売、共同宅配サービスやロボット宅配等によるサービス提供の推進。
- 民間事業者とNPOや地域住民ボランティア等の協働による取組の推進。



- 「ロボネコヤマト」による荷物配送の実用実験が藤沢市でスタート

多様な医療・福祉支援

- 在宅系のサービスや医療・介護施設の利用しやすさを高めていく取組の推進。
- 緊急搬送体制の拡充。



- 未病バレー「BIOTOPIA」がオープン(神奈川県足柄上郡大井町)

子育て支援

- シニア世代のスキルやネットワークを活かしたコミュニティビジネスの起業、子育て・体験学習支援等。
- 職住近接による、子育てや介護と仕事の両立。
- 都心と比べて低廉・適正な家賃で比較的広い住居。
- 豊かな郊外ライフスタイルの提案及び確立。



出典：文部科学省HP

【関東大環状】

定住(起業)

- 定年退職後、スタッフ的な仕事を在宅勤務やサテライトオフィスでこなしながら、豊かな環境の下での老後生活。
- 東京等でのビジネス経験と地元での新しい仲間やローカルな資源を活かして、起業。その地域ならではの新しい仕事にチャレンジ。
- 各種の環境整備や支援策。

起業のための勉強会



出典：綾部ローカルビジネス研究所HP

二地域居住(近居・同居)

- 現役で働く30~40代のビジネスパーソンが子育て・介護のため出身地などに、また、趣味・地方への憧れにより好みの地方に、1/2居住。
- 就労支援や空家活用などの住宅支援。



出典：Fast&Slow / PIXTA



出典：COOL CHOICE ウェブサイト

新幹線通勤

- 豊かな自然環境の中で暮らし、勤労者は高速交通機能(新幹線)を利用し、東京で働く。(リニア整備による「ぞみ減便」に伴うひかり・こだまの増便、大宮始発着による東北・上越新幹線増便や、フレックスタイムの普及を想定。)



出典：栃木県移住・定住促進サイト

【圏央物流】

物流施設の立地誘導

- 民間物流施設を圏央道沿線等へ誘導することにより、首都圏の物流を円滑化、効率化し、産業や経済活動の生産性を向上するとともに、リング内の物流施設の移転により生じる跡地の土地利用転換を促進。

- 袖ヶ浦椎の森工業団地(H29年度整備完了)



圏央道「茂原北IC」から約5分でアクセス可能! 出典：茂原市資料

圏央道の早期完成に向けた事業実施

- 圏央道未開通区間(釜利谷JCT~藤沢IC、大栄JCT~松尾横芝IC)の早期整備を実施。
- 京浜港と背後圏との広域交通ネットワークを形成し、物流の効率化及びリダンダンシーの確保、新東名高速道路(海老名南JCT~御殿場JCT)や港湾整備と相まって産業の国際競争力強化を図る。

【圏央道の整備状況】

【圏央道開通による京浜港とのネットワーク】



出典：関東地方整備局HP



出典：関東地方整備局HP

テレワーク

- テレワークによる通勤時間の有効活用、地方生活を満喫しながら仕事をし、職住近接により子育て・介護と仕事を両立。
- 働き方改革と合わせて、ハード・ソフト両面の支援策。

在宅勤務



出典：株式会社waja コーレト付

コワーキングスペース



出典：宮島工務店HP

企業向け賃貸オフィス



出典：富士見町HP

IoT・ICTを活用した豊かなスマート関東の実現プロジェクト

技術革新により急速に進化したIoT、ICTを活用して豊かな暮らし、生産性の高いビジネス環境を実現するため、首都圏の各プロジェクトにおいてIoT、ICTの活用を推進するとともに、特区制度等も活用し、先鋭的な実証実験を進め、社会への導入・普及を目指す。

スマート関東のイメージ(例)

農業

例: 篤農家の技術の形式知化
(農業分野におけるアイカメラの活用)

出典: J Acom 農業協同組合新聞

医療

例: 遠隔医療

出典: 総務省 8K技術の応用による医療のインテリジェント化に関する検討会報告書

介護・福祉

例: 現場における介護ロボットの活用

出典: 介護ロボットポータルサイト

運輸・物流

例: ロボット宅配

出典: gualtiero boffi/shutterstock.com

交通

例: 自動走行車

出典: 国土のグランドデザイン2050参考資料

防災

例: プッシュ型配信のイメージ

出典: 国土交通省 HP

インフラ

例: i - Construction
マシンコントロールのしくみ

出典: 国土交通省 HP

観光

例: AR による案内

出典: 国土のグランドデザイン2050参考資料
Augmented Reality(拡張現実)の略。

例: 日本橋で行ったワイヤレスコリドーの実験

出典: 国土交通省資料

例: 丸の内地下で行った高精度測定の実験

出典: 国土交通省資料

例: 視覚障害者の支援

「9m先、右折します」
出典: 国土交通省資料

図中の は、IoT・ICTを活用した主な先進的な取組例の位置を示す。色は分野を表す。

【背景】

近年及び今後見込まれる機器の技術革新
スマートフォン、ウェアラブル端末、無料wifiスポット、ナビゲーションシステム、ETC2.0、AIロボット、ドローンなどが普及し、使いやすさも向上
海外からのアクセスの良さや、多くの企業や大学・研究機関が立地する首都圏の利点を活かし、実験の成果を広く発信することで、サービスの利用の定着・拡大が可能

【取組内容】

戦略プロジェクトを推進していく中で、IoT・ICTの活用を推進する
(H29年度の具体的取組)
世界初、高速道路でCACC を用いたトラックの後続有人隊列走行実験
Cooperative Adaptive Cruise Control(協調型車間距離維持支援システム)の略
高精度測位社会プロジェクト実証実験

【効果】

先鋭的な実証実験を進め、IoT・ICTの社会実験・実用化の推進
豊かな暮らし、良好なビジネス環境を実現し、首都圏の競争力を向上
バリアフリー・ストレスフリーな街づくり、ホスピタリティにあふれた空間を実現
IoT・ICTを活用した産業の成長、立地促進による経済成長

IoT・ICTを活用した豊かな暮らし、ホスピタリティー空間、生産性の高いビジネス環境の実現等、スマートな地域づくりを進める。

観光

- ・外国人旅行者に向けての情報発信や多言語化(自動翻訳)
- ・生体認証を用いたホテルのチェックイン・レンタサイクルの貸出
- ・最先端情報技術を用いた空港での情報提供
- ・スマートフォンのアプリを活用した店舗情報発信 等

- 【具体的事例】
- ・「LUGGAGE-FREE TRAVEL」サービス(羽田空港および都内ホテル)
 - ・空港の情報ユニバーサルデザイン高度化(羽田空港)
 - ・訪日客に店舗情報発信(成田空港、羽田空港)
 - ・高精度測位社会プロジェクト(成田空港、新宿駅、東京駅周辺、日産スタジアム)

例: 生体認証による新サービス ゆびクーポン(湯河原・箱根・鎌倉)



出典: miQip HP

農業

- ・スマートフォンのアプリを用いた作業日誌記録
- ・ロボットを活用した飼育管理
- ・アニマルセンサー・獣感知装置を活用した獣の遠隔監視 等

- 【具体的事例】
- ・トマトのハウス生産における匠の技術に見える化(栃木県栃木市)
 - ・スマートフォンアプリによる作業日誌記録(千葉県我孫子市)
 - ・ほ乳ロボットの活用で労力の省力化(山梨県南都留郡富士河口湖町)
 - ・鳥獣害対策における遠隔監視のためのクラウドシステムの構築(長野県塩尻市)

例: 太陽光利用型ドームハウスを使用した野菜栽培(神奈川県藤沢)



出典: 農林水産省 HP

交通

- ・自動運転技術を活用したバスの無人走行
- ・ETC 2.0による情報提供サービス
- ・ロボット車両を用いたタクシーによる送迎サービス 等

- 【具体的事例】
- ・自動運転大規模実証実験(首都高、東名・新東名高速道、常磐自動車道の一部、東京臨海地域周辺の一般道、テストコース(日本自動車研究所) 等)
 - ・自動運転バス導入に向けた実験(千葉市)
 - ・自動運転テストコースの設置(つくば市日本自動車研究所)

例: ロボットタクシー車両による送迎サービス(神奈川県藤沢市) 【実証実験車両】



※研究エンジニアが運転席に乗車

出典: 第1回自動運転における損害賠償責任に関する研究会資料

運輸・物流

- ・ドローンを活用した宅配サービス
- ・情報通信技術を活用したコンテナ輸送 等

- 【具体的事例】
- ・マルチテナント型の先進的物流施設の開発(千葉県流山市)
 - ・東京ミッドタウン館内物流効率化計画(東京都港区)
 - ・再配達削減に関する取組(日本郵便(株))(東京都)
 - ・千葉市ドローン宅配等分科会(千葉市)
 - ・コンテナ輸送効率化(横浜市南本牧ふ頭)

例: ICTを活用したコンテナ輸送効率化方策



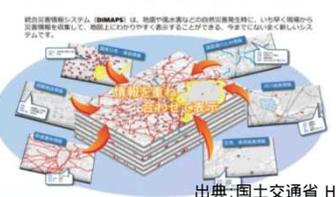
出典: 関東地方整備局 HP

防災

- ・プッシュ型での河川氾濫情報の配信
- ・統合災害情報システム(DiMAPS)
- ・災害現場でのドローンの活用 等

- 【具体的事例】
- ・鬼怒川プッシュ型配信(茨城県常総市)

DiMAPS



出典: 国土交通省 HP

医療

- ・多職種間での情報連携による効果的な在宅医療の実現
- ・スマホを使った院外専門家からの診断 等

- 【具体的事例】
- ・モバイルクラウド心電図を用いた院外・プレホスピタルケア(相模原市)
 - ・ICT活用による在宅医療の効率的な提供(東京都世田谷区)
 - ・スマホを使った脳卒中患者の画像診断補助システム「i-Stroke」(東京都港区)
 - ・在宅医・看護介護スタッフの情報共有クラウドサービス(横浜市)
 - ・神奈川マイカルテ(神奈川県藤沢地域)

例: ICTを活用した遠隔医療の実施



出典: Cisco Systems HP

介護・福祉

- ・施設利用者の情報を多職種間で共有・連携支援
- ・介護ロボットによる介護・医療サービスの提供
- ・ICカードを活用した健康状態の管理 等

- 【事例】
- ・ICT地域包括ケアモデル(東京都三鷹市ほか)
 - ・地域包括ケアシステム構築に向けた在宅医療・多職種連携の推進と地域ケア会議の開催(千葉県柏市)
 - ・介護ロボット普及推進センターの公開事業(横浜市、神奈川県海老名市)
 - ・ICカードを活用した母子健康情報管理等(群馬県前橋市)

例: こよの道案内を利用した位置情報音声誘導システム活用事業(新宿、渋谷ほか)



出典: 総務省 HP

インフラ

- ・ICT建設機械等を用いた道路・河川工事
- ・構造物の維持管理におけるICTやドローン等の活用
- ・水道・電気・ガス等の社会インフラへの活用
- ・石油精製プラント等における自主保安の高度化(産業保安)
- ・製造業における製造プロセスの高度化

- 【具体的事例】
- ・工事現場の測量や施工計画、進捗管理等、施工～維持管理までの複数データを一元管理するなど社会インフラ全体で活用(国、自治体等)
 - ・「でんき家計簿」にてスマートメーターで計測した利用量を可視化(東京電力)
 - ・ガス・水道メーター無線自動検針システム(横浜市など)

例: i-Construction

●設計データや現場計測データを建設機械に入力して施工



出典: 国土交通省 HP

北陸新幹線の対流促進効果最大化による北陸圏地域活性化プロジェクト

北陸新幹線の開業により、東日本や西日本から北陸への来訪者が増加。人流の玄関口となる新幹線駅の拠点機能強化や関連する交通環境の強化を更に進め、新幹線の対流促進効果最大化による北陸圏の地域活性化を目指す。



【背景】

- 北陸新幹線開業により、東日本と北陸の移動時間が大幅に短縮。
- 金沢地域への観光入込が過去最多となるとともに、圏域内での来訪者の行動が広域化・多様化。

【主な課題、取組の方向性】

- H34年度の金沢 - 敦賀間開業も見据え、新幹線がもたらす変化を圏域全体の地域活性化につなげるため、
 - 北陸全体のイメージアップによる興味や旅行意欲の喚起。
 - 様々なニーズに対応できる観光行動の選択肢の多様化。
 - より長時間楽しませる観光コンテンツや案内機能の充実。
- (H29年度の具体的取組)
北陸圏における対流・交流に関する基礎調査を実施。

【プロジェクトチーム構成】

北陸地方整備局、北陸信越運輸局、富山県、石川県、福井県、富山市、金沢市、福井市、経済団体(北陸経済連合会、各商工会議所)、観光連盟 等

【効果】

- 「北陸」ブランド普及による新規旅行者の獲得。
- 多様な旅行先や楽しみ方の提供によるリピーターの獲得。
- 滞在時間延長による宿泊機会や観光消費額の増加。

【テーマ1】北陸の魅力発信

・北陸地域の活性化を目指すには、近年増加する北陸を訪れる外国人旅行者の中でも、連泊滞在し消費行動が旺盛なターゲットに絞り、ターゲットのニーズに合う魅力の発見と磨きが必要。

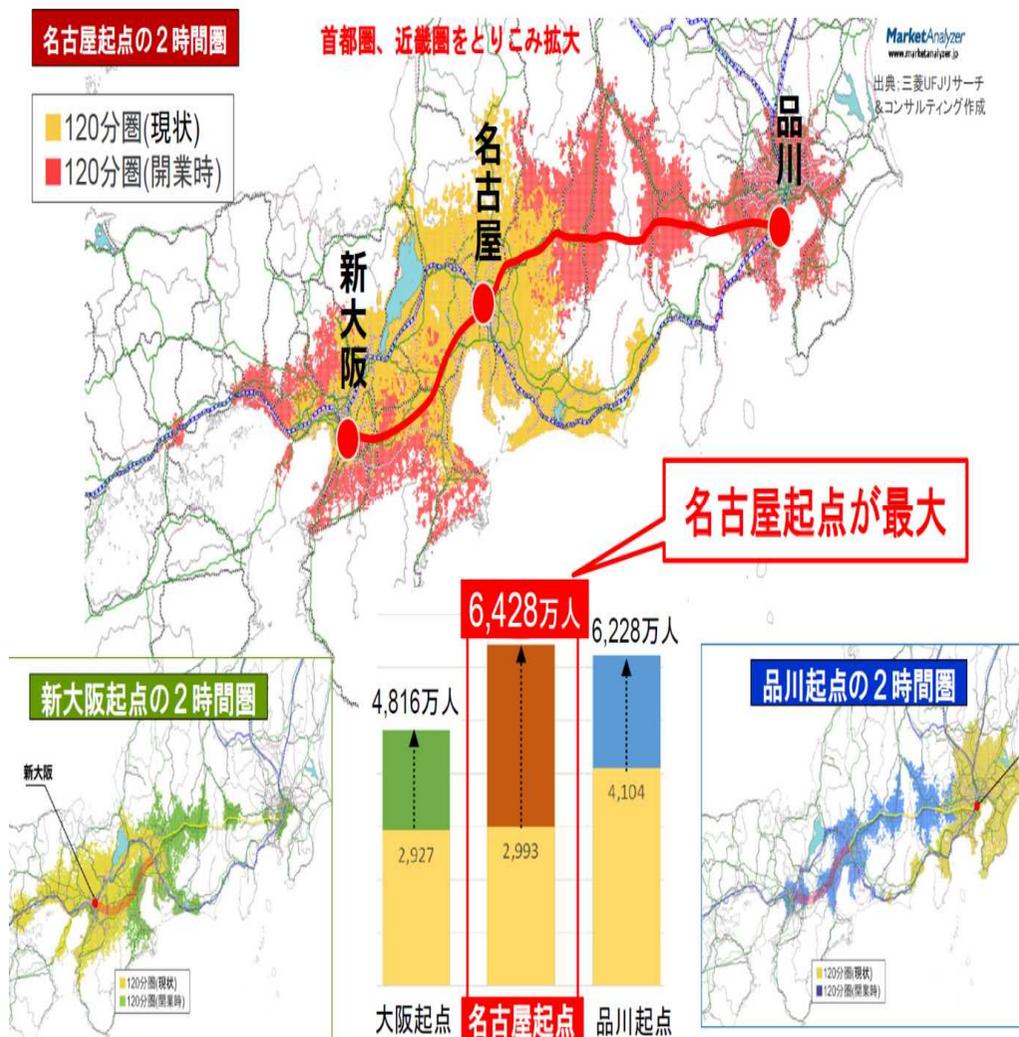
【テーマ2】二次交通の利便性向上

・北陸新幹線停車駅周辺では観光客が増加しているが、圏域の縁辺部を含めた北陸圏全域への対流効果は限定的。
・増加する外国人旅行者は、団体旅行から個人旅行にシフトしており、二次交通の利便性向上を求めている。
・日本旅行の経験者や富裕層等では、効率的に移動して旅行の満足度を高めたいと、移動手段にレンタカーを選択する人が増えている。



リニア時代の“ものづくり”進化プロジェクト

リニア中央新幹線の開業により中部圏と地方との時間距離が大幅に短縮されることを踏まえ、中部圏と各地のものづくり産業との連携拡大の可能性とそれを踏まえた中部圏の今後のものづくり産業の発展シナリオを展望し、リニア開業がもたらす地域振興の効果の最大化を目指す。



【背景】

中部圏は、自動車関連産業、航空宇宙産業など世界をリードするものづくり産業が集積
リニア中央新幹線(品川 - 名古屋間)の2027年開業、その後の大阪までの開業により、三大都市圏が1時間で連結。
対流の中心としての名古屋のポテンシャル向上(人口、事業所数、本社等の2時間圏集積が最大)

【取組内容】

企業ヒアリング等を通じたものづくりの将来方向の把握
研究開発に携わる人材の集積・交流拡大方策の検討

- ・ものづくりと研究開発施設の現状
 - ・交流拡大に伴う新たな研究開発の可能性
 - ・研究開発施設の集積の要件
 - ・関連施設の提案
- 新たな働きかたを支える地域づくりの検討

- ・ものづくりの将来像を踏まえた働き方の変革
 - ・新ワークスタイルの展開可能性
 - ・新ワークスタイルを実現するための要件
 - ・魅力あるまちづくり
 - ・関連取組の提案
- リニア効果最大化の取組の検討

- ・リニア駅アクセスの現状(業務、観光)
 - ・リニア駅の活用方策
 - ・アクセス向上の取組
- (平成29年度の具体的取組)

- ・「中部の地域づくり委員会」において、「リニア時代の“ものづくり”対流拠点形成の検討」をテーマに意見交換会を実施

【効果】

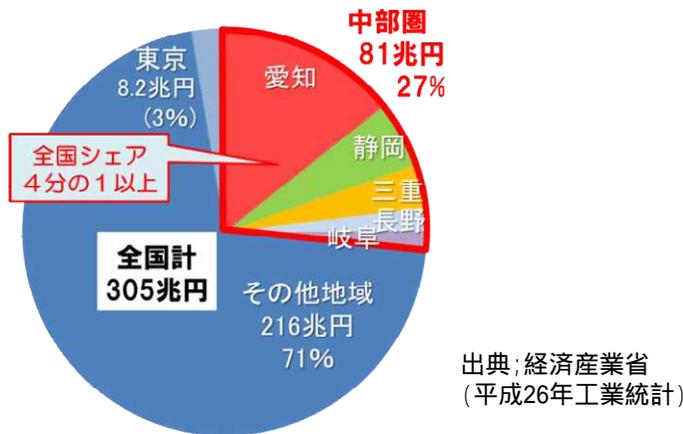
研究開発に携わる人材の集積・交流拡大による中部圏のものづくりの強化

新たな働き方の展開によるリニア沿線の定住人口の拡大など、リニア開業がもたらす地域振興の効果の最大化

中部圏では全産業に占める製造業の割合が高く、ものづくり中枢圏域を形成

- ・中部圏は製造品出荷額等の**全国シェア27%**占めるものづくり中枢圏域である。
- ・中部圏の**全産業に占める製造業生産額の割合は35.6%**であり、**全国の20.7%**と比べ高い比率となっている。

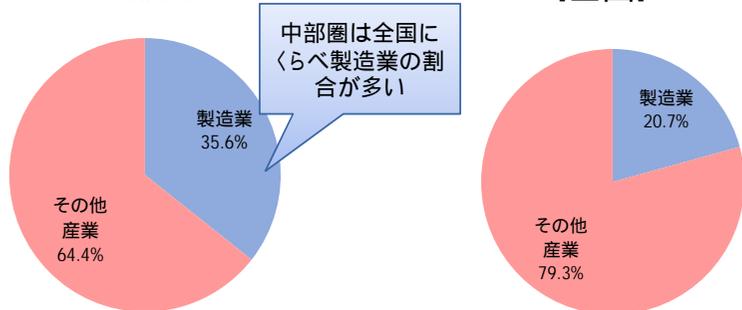
中部圏の製造品出荷額等 (H26)



全産業に占める製造業生産額の割合

【中部圏】

【全国】



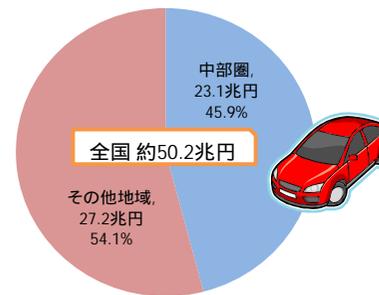
中部圏では自動車関連産業、航空宇宙産業の集積が特に高い。

自動車関連産業

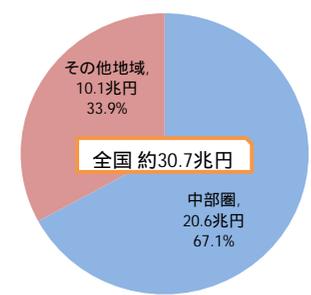
- ・中部圏の**輸送用機械器具**の製造品出荷額は**全国5.9%**、**自動車部分品**の製造品出荷額は**全国の67.1%**と高い割合を占める。

自動車関連の製造品出荷額等の全国シェア(H26)

輸送用機械器具製造業



自動車部分品・附属品製造業



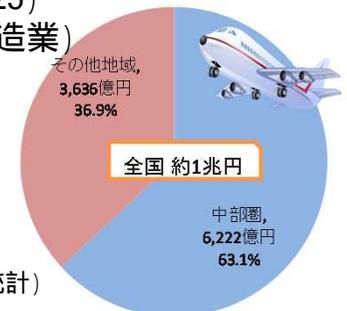
出典：経済産業省 (工業統計)

航空機関連産業

- ・中部圏の**航空機部品**の製造品出荷額は**全国の63.1%**と高い割合を占める。

航空機部品の製造品出荷額等シェア (H25)

その他の航空機部分品・補助装置製造業



出典：経済産業省 (工業統計)

リニア効果の広域的波及を促進するまちづくり・モビリティ進化プロジェクト

リニア中央新幹線の駅を核とした地域の活性化に向けて、自動運転技術の導入による革新的なバストラジットなど新たな二次交通のあり方及びそれを活用したまちづくりの将来方向を検討し、リニア効果の広域的な波及の最大化を目指す。



■リニア岐阜県駅
【出典】中津川市リニアまちづくりビジョン

【背景】

リニア中央新幹線(品川 - 名古屋間)については、2027年の開業に向けて建設が進められており、各県・市において、リニア開通効果活用のためのリニア駅を中心としたまちづくり計画を検討中

リニアの沿線のみならず、開業効果を広域的に波及させるための取組が必要

【取組内容】

リニア駅周辺のまちづくりに関する検討

- 各駅周辺で検討されているまちづくりや交通ネットワークの整備の計画を踏まえ、各駅及び周辺地域の広域的な機能について検討
- リニア駅の広域的な機能を活用した新たな広域連携の可能性、人流の活性化について検討
- 二次交通の充実とまちづくりとの連携についての検討
- 自動運転技術の導入による革新的なバストラジットについての検討
- 鉄道駅等公共交通の拠点から住宅・集客施設等に至る、ラストワンマイル部分の交通サービスの充実方策の検討

(平成29年度の具体的取組)

- 自動運転等の新たな技術や取組の動向を踏まえたまちづくりについて、関係者間で意見交換を実施

【効果】

自動運転などの先進技術の導入で、移動に新しい価値を提供

リニアや高速道路などの高速交通ネットワークを活かした広域連携により、多様な広域観光交流圏を形成

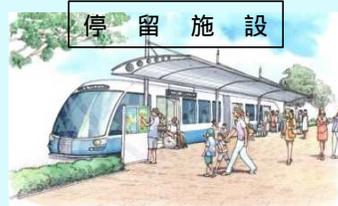
【参考】名古屋市における取組(スマート・モビリティ・ハブ・名古屋)

革新的なバストランジットによる次世代公共交通の実現

都心での交流を拡大させるインフラとして、BRTの柔軟性を活かした革新的で魅力的なタイヤベースのシステムを導入。車両は、自動運転技術や燃料電池システムなどの先端技術を備えることを検討。



先進技術を備え、広々として乗降のしやすいシンボリックな車両



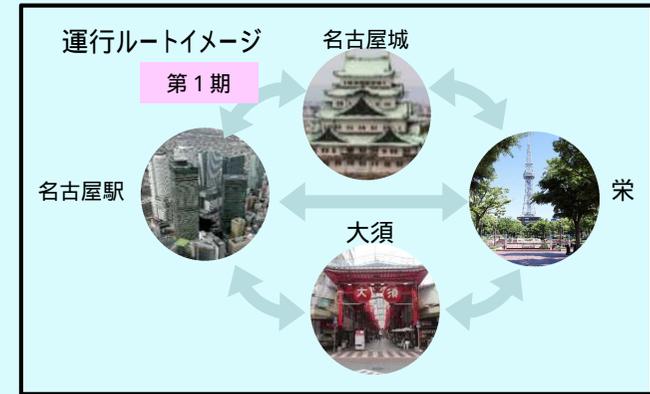
情報発信や休憩・待合機能を備え、存在感のある停留施設



歩道側を基本に、定時性や快適性を確保できる専用・優先レーン



～他都市事例～
【フランス・メッス】

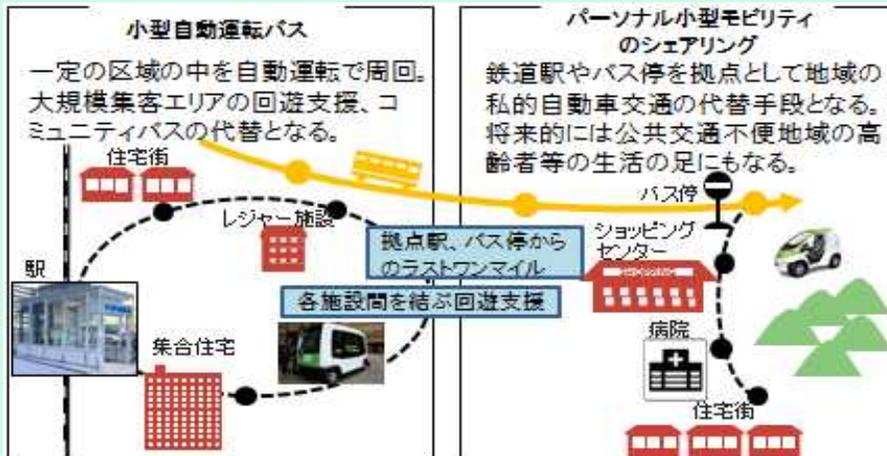


スケジュール			
革新的バストランジット	2017年度～	-	
	整備方針の検討	第1期の整備 (名古屋駅～名古屋城)	第2期の整備

【出典】名古屋市資料より

新モビリティによるラストワンマイルの充実

地下鉄や基幹的なバス路線と連携し、小型自動運転バス、パーソナル小型モビリティの導入により、運転手不足や交通弱者にも対応した末端交通網を充実し、市内全域におけるシームレスな移動を実現。



～ 小型自動運転バス ～



車両イメージ：(株)DeNA HPより

～ パーソナル小型モビリティ ～



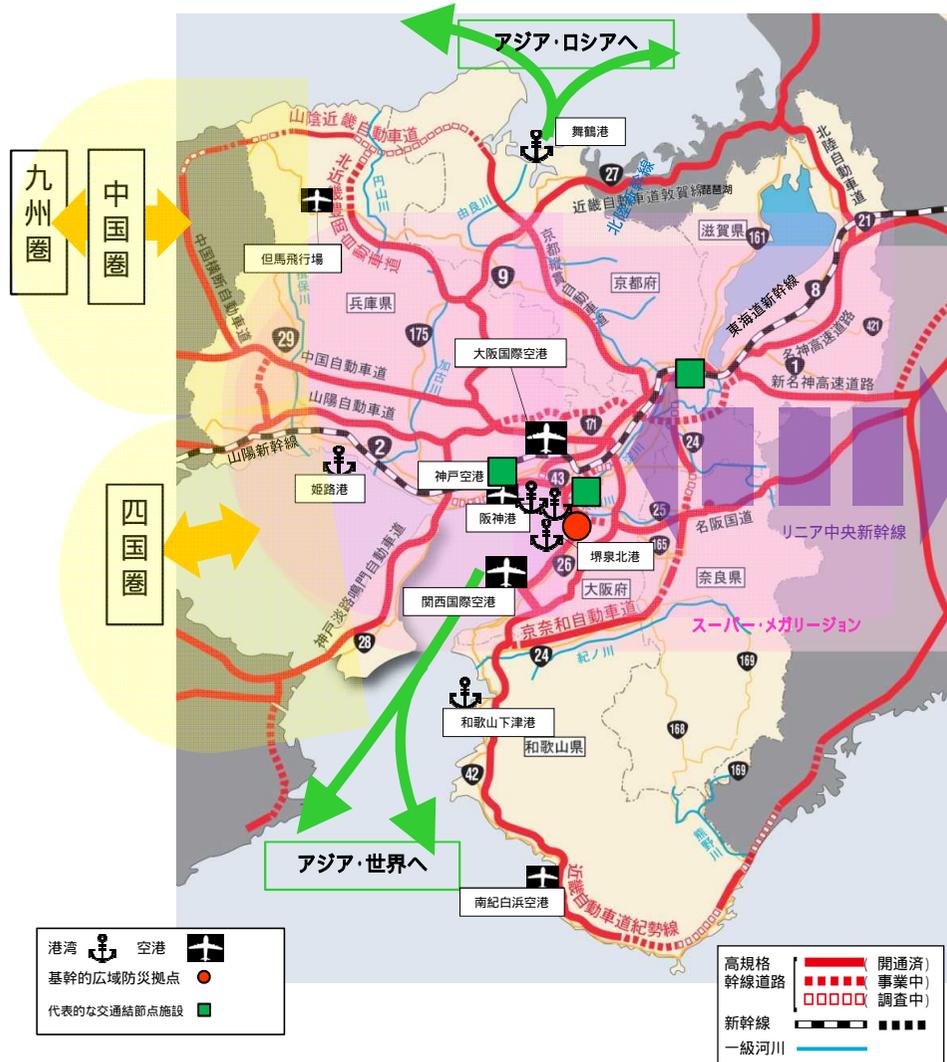
車両イメージ：トヨタ車体(株) HPより

スケジュール		
ラストワンマイルの充実	2017年度～	-
	実証実験の検討	実証実験の実施検討

【出典】名古屋市資料より

近畿を結節点とするアジア・西日本とスーパー・メガリージョンとの連携促進プロジェクト

リニア中央新幹線の整備を見据え、近畿圏をスーパー・メガリージョンに対する西日本のターミナルと位置づけ、近畿圏の結節機能を強化することで、アジア等海外を含めて、人・物・情報の広域の対流を活発化させ、イノベーションの促進やインバウンドの増大等による圏域の活性化を目指す。



【背景】

リニア中央新幹線による東京・名古屋とのアクセス向上
 関西国際空港始め、アジアからの入国拠点
 スーパー・メガリージョンにおけるアジアのゲートウェイ
 西日本とスーパー・メガリージョンとの結節点
 国家戦略特区における健康・医療関係の産業、大学、研究機関の集積

【取組内容】

三大都市圏の相互交流・融合によるイノベーションの促進及び地方圏との融合における関西が果たすべき役割、問題点の把握、対応策の検討
 西日本地域との連携による経済効果の検討
 関西国際空港等から交通拠点へのアクセスに関する検討
 民間のニーズを踏まえた健康・医療産業の成長エンジン化や知の拠点整備の調査・検討
 インバウンドを活用した観光・歴史・文化の交流、連携による地域活性化の調査・検討

(H29年度の具体的取組)

リニア開通及びSMR形成を見据え、関西の現状を把握し、課題を整理。また、西日本圏域のSMRに対する認識を深めることを目的に西日本SMR勉強会を開催。

【効果】

アジアのゲートウェイとして、関西への来訪者の増加による関西経済の活性化
 関西と西日本圏域の人・物・情報の連携による地域の活性化
 健康・医療イノベーション創出による産業活性化

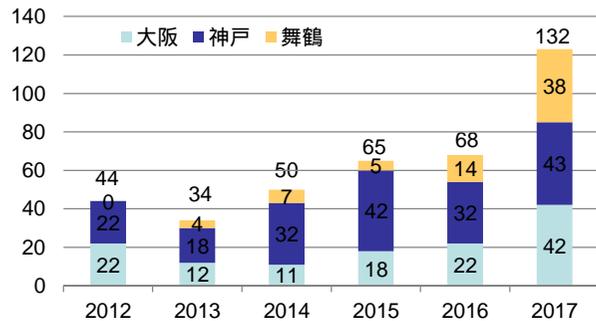
【関西国際空港や関西三港湾の動向】

- ・2017年冬期のアジア方面の便数は関空が最多。
- ・他空港よりアジアに近い関空の優位性。
- ・関西三港湾のクルーズ船寄港回数は、近年増加傾向

アジア方面の発着便数比較 (便数/週)

発着	関西空港	成田空港	羽田空港	中部空港
韓国	337	186	105	49
中国	330	239	167	114
その他	401	634	287	125
アジア計	1,068	1,059	559	288

2017冬ダイヤ 国際定期便(10月29日～11月4日) 直行便



関西三港湾のクルーズ船寄港実績の推移

出典:近畿地方整備局港湾空港部資料

【世界文化遺産および国宝の指定件数】

- ・2018年3月時点、世界文化遺産の指定件数は5件で、全国(17件)の29%となっている。
- ・また、関西における国宝の指定件数は608件で、全国の55%となっている。



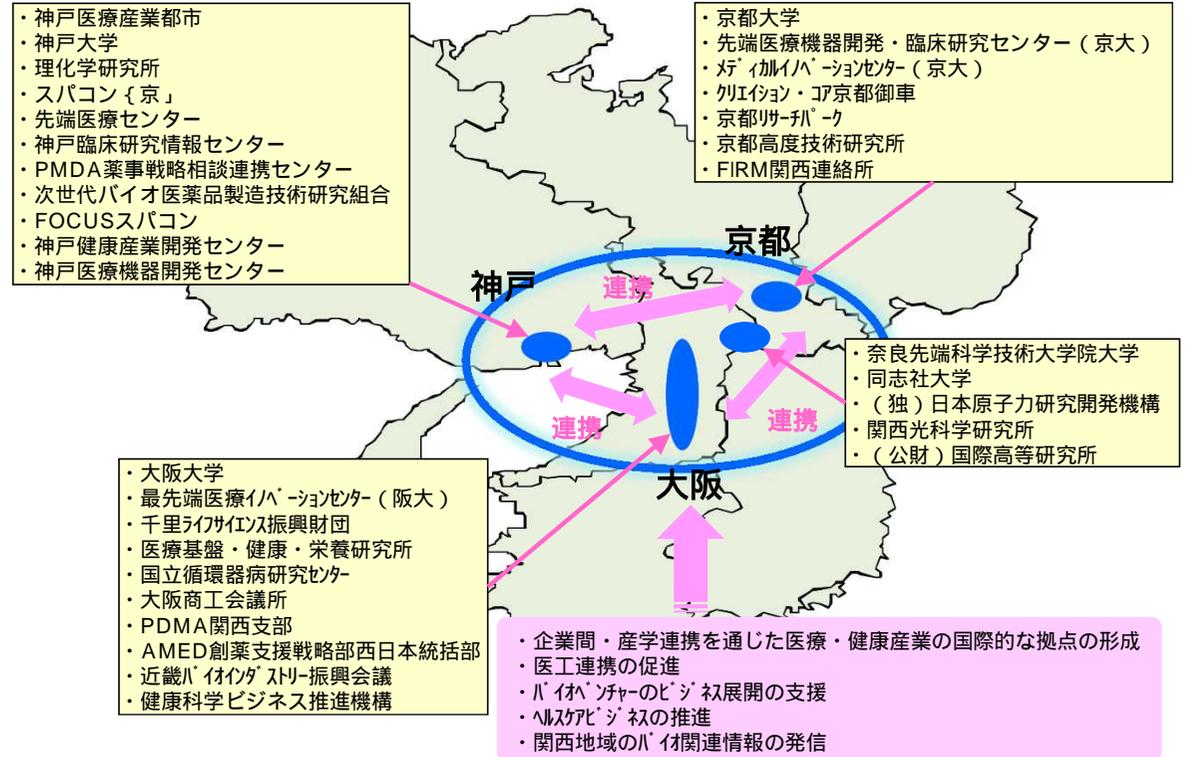
関西と関東の国宝指定件数

資料:文化庁HP

【関西の世界文化遺産】

- ・姫路城
- ・古都京都の文化財
- ・古都奈良の文化財
- ・法隆寺地域の仏教建造物
- ・紀伊山地の霊場と参詣道

関西における医療・健康イノベーション拠点の整備・連携



資料:関西広域地方計画(概要版)より

関西の主要な医療、健康イノベーション拠点

【訪日外国人数の推移】

- ・関西、特に大阪における訪日外国人数の増加は著しく、2012年比で2017年の増加率は、全国の3.4倍に対して、関西で4.4倍、大阪で5.5倍となっている。

注)

- ・2012年～2016年は確定値、2017年は推定値
- ・関西・大阪の訪日外客数(推計)=訪日外客数年計(1月～12月)/関西への訪問率



訪日外国人数の推移グラフ

出典:観光庁「訪日外国人消費動向調査」、日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」

高速交通ネットワーク活用と質の高い定住環境整備による「創造定住拠点」形成プロジェクト

中国・四国圏における、高速交通ネットワークの整備・活用による大都市圏や海外へのアクセス改善と豊かな自然や文化に支えられた質の高い定住環境の整備により、情報通信産業など知識創造型産業を担う人材を含む多世代の定住・交流を促進し、豊かな生活圏域の形成と地域産業の活性化を目指す。



徳島県神山町

ART BASE 百島



中山間地域に企業が立地し人口が社会増 (サテライトオフィス)



廃校を再生・活用した芸術活動による 離島活性化

【背景】

空港・新幹線によるSMR等へのアクセス利便性と、圏域内に形成されつつある面としてのネットワーク。日本海・瀬戸内海・太平洋や都市・農村・離島等、バラエティに富んだ地域の分布により、多様な歴史文化や自然、個性豊かな食文化が幅広く存在。瀬戸内国際芸術祭が開催されるほか、ドラマ・映画の舞台、海外にも人気の高いマンガ・アニメ等のコンテンツが集積。大都市近傍でありながら自然が豊かという立地条件により、知識創造型産業を担う人材やアート・デザイン分野の人材を惹きつける魅力が豊富。

【取組内容】

高速交通ネットワークの現状、医療・教育等の都市機能の水準・防災性、固有の自然・文化遺産の地理分布、地公体・NPO等の取組状況等に基づく地域ごとの「創造定住拠点」形成ポテンシャルを分析。

(H29年度の具体的取組)

「創造定住拠点」の形成に向け、成功事例の分析を実施。H30年度は、分析結果を他地域に波及させることを目的とした「定住拠点形成ガイドライン(骨子)(案)」を作成。

【効果】

安全で良質な生活環境を担保しつつ、高速交通ネットワークの活用等によりSMR等の大都市圏へのアクセス性を有する定住とビジネスの拠点を中国・四国圏域に形成。知識創造型産業を担う人材等を含む多世代の交流・移住促進。

【創造的人材職種に向けた拠点形成の例】

徳島県神山町サテライトオフィス

超高速ブロードバンドを活用し、山村でも仕事ができるサテライトオフィスやテレワーク等の遠隔勤務により、大都市から人や事業所を呼び寄せる先進的な取組が行われている。

ITベンチャー、デザイン会社、映像関連企業などの場所を選ばない企業を誘致。

16社がサテライトオフィスを設置し、過疎地域における仕事・雇用を創出。(H30.5時点)



「えんがわオフィス」外観



「えんがわオフィス」内部

出典) まち・ひと・しごと創生に関する有識者懇談会資料 (NPO法人グリーンバレー大南信也氏)

「神山バレー・サテライトオフィス・コンプレックス」(徳島県神山町)

閉鎖した元縫製工場を改修し、コワーキングスペースとして活用。クリエイティブ産業の集積を目指しており、共有ワークスタイルによる異業種交流により新たな可能性が広がる。



徳島県庁



徳島大学



隣接するゲストハウス

WEEK神山 (株式会社神山神領)

島根県松江市

知人に誘われて、IT人材の「まつもと氏」がJターン行政と連携し、駅前にITを活かした多業種・多世代交流拠点を新設
教育機関との連携による学生へのIT教育を展開
行政界を超えたイノベーションの波及効果も発現

【駅前拠点】

【中海・宍道湖・大仙圏～インドの経済交流】



IT人材の交流



プログラミング言語Rubyも活用

徳島県美波町

趣味や楽しみと仕事の両立を求めてIT人材の「吉田氏」がUターン行政と連携し、遊休不動産リノベーションによる交流拠点を新設
他民間との連携による一次製品の生産・消費拡大に向けた六次産業化を支援する拠点整備
大都市居住の子どもの二地域居住

【IT人材の交流】

【六次産業化支援に向けた拠点】



【子どもの二地域居住】

世界遺産等海道プロジェクト

九州圏は、将来的に山口から九州、沖縄まで6つの世界遺産が海洋を含んで連なる地域となる可能性があることを活かし、豊かな自然環境、歴史・文化、食文化等に裏付けられた魅力ある地域づくりと、それを活かしたアジアを含む圏域内外の交流・連携の促進により、日本の成長センターとなることを目指す。



【背景】

インバウンドの増加（'15:283万人，'16:372万人【1.31倍】）
クルーズ船の寄港増加（'15:576回，'16:814回【1.41倍】）
（「官民連携による国際クルーズ拠点」を形成する港湾の選定）
九州・沖縄における世界遺産登録ラッシュ
'19ラグビー・ワールドカップ開催に向けた来訪者の誘致
オリンピック・パラリンピックに向けた訪日外国人観光客の誘致
地方版総合戦略によるDMO等稼げる地域づくり
熊本地震からの創造的復興

【取組内容】

日本の南西地域における世界遺産等の活用など、観光関連の各種取組(全国・九州)情報を収集・整理し、広域連携を促進する海道の形成の観点から、以下を重点的に検討・調査し、方針としてとりまとめる。

圏域内・外との交流・連携の強化

アジアとの交流・連携の強化

稼げる地域づくり(温泉アイランド九州等の推進)

それを基に、地方創生関係事業との連携や圏域連携、官民連携などの事業等を活用した連携強化や拠点形成等の取組への展開により「観光交流」や「経済交流」、「インフラ整備」等、九州圏広域地方計画全体の推進を図る。

(H29年度の具体的取組)

交流・連携の強化に向けた、取組事例や地域資源等の調査を実施

【効果】

アジア地域等からのインバウンドの増加により地域の稼ぐ力を高めるなど、世界の成長センターであるアジア地域の成長力を引き込んだ日本の成長センター「ゲートウェイ九州」の形成に資する。

(参考) 世界遺産等海道プロジェクト

九州の外国人入国者数の推移



出典) 法務省出入国管理統計

九州へのクルーズ船の寄港回数



出典) 「九州クルーズレポート(九州地整 港湾空港部)」

「官民連携による国際クルーズ拠点形成する港湾」の状況
国土交通省港湾局 平成30年2月27日公表



横浜港、清水港、佐世保港、八代港、本部港、平良港は、「国際旅客船拠点形成港湾」に指定(H29.7.26)

九州への空路(国際線LCC)

福岡空港発着の一例



国際的イベント



九州・山口・沖縄の世界遺産(候補含む)

分類	世界遺産名
世界文化遺産	明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業
	琉球王国のグスク及び関連遺産群
	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群
	長崎と天草地方の潜伏キリタン 関連遺産(候補)
世界自然遺産	屋久島
	奄美大島、徳之島、沖縄北部及び西表島(候補)